

令和5年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」明治中学校区実践計画書

事務局：明治中学校（教頭・梅村光江）

1 主題（18年次）

『学習習慣を身に付けさせるための小・中連携はどうあればよいか』

2 主題設定の理由

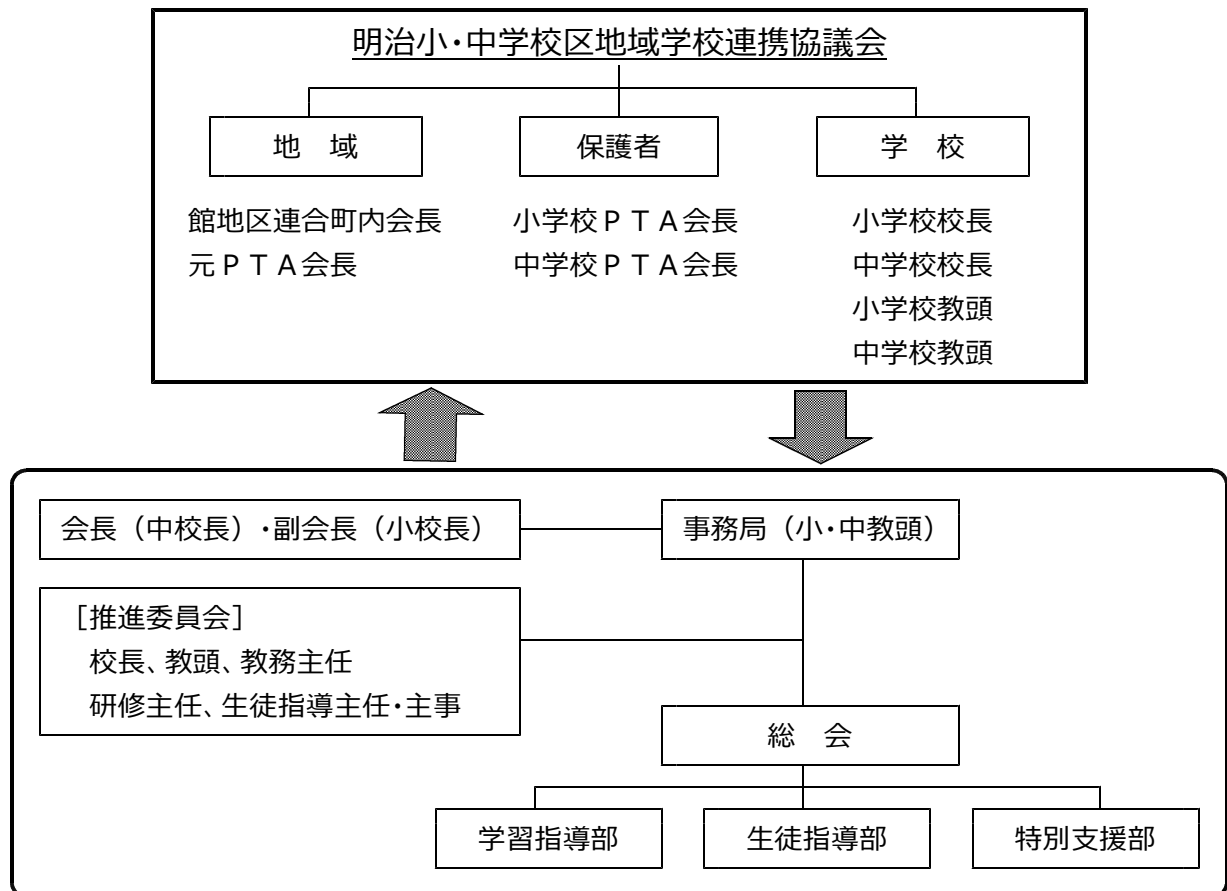
本学区の児童生徒の実態として、「明るく素直である」「優しく思いやりがある」「教師の指導を素直に受け入れる」などの反面、「幼少期からの固定化した狭い人間関係の中で、新たな発見などの刺激が少ないため、問題発見能力、課題対応能力に乏しい」「競争心に薄く、向上心が不足している」「理解力は低くないものの、家庭学習の習慣が十分に定着していないことから学力に伸び悩みが見られる」ことなどが挙げられる。

これからの厳しい挑戦の時代の中を生きる子供たちには、持続可能な社会の担い手として、未知の課題に対しても自ら考え解決の方策を見付け、新たな価値を生み出していくという「生きる力」が必要である。そこで、本校学区では、「生きる力」の要素の一つである「確かな学力」を9年間の連続した学びの中で育むことが重要であると考え。そのために、教師は児童生徒の発達の段階を踏まえた魅力ある授業を実践することを通して、基礎学力の向上及び自ら学び考える力を育てる必要がある。

また、望ましい生活習慣の形成と学習習慣づくりのためには家庭の教育力も欠かすことはできない。家庭における円満な人間関係づくりと肯定的な語りかけによる子育てへの意識を啓蒙しながら、児童生徒に夢と希望をもたせられるよう、学校から働きかけていくことが大切である。

以上の本学区の実態から、今年度も引き続き、上記主題のもと、小・中学校で連携して取り組んでいきたい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

明治中学校区 重点指導項目	
「授業づくり」「居場所づくり」「絆づくり」の視点で連携を強め、魅力ある明治中学校区を目指す	
1	学習意欲の向上や学習習慣の確立を図る取組の実践と改善
2	6年児童を対象とした中学校の授業参観及び部活動体験の実施
3	教員の異校種相互の授業参観の実施
4	小中合同あいさつ運動の継続
5	キャリア教育の視点からの小中接続を意識した教育活動の実施
6	講話による研修の実施

＜重点指導項目を受けた各部の主な取組内容＞

- 学習指導部
 - ①「家庭学習のやくそく」の活用
 - ②授業参観を通しての交流—明治小校内研「学び方指導」「学習方略」を生かした共通実践
 - ③N R T結果の分析と情報共有・N R T問題冊子の交換
- 生徒指導部
 - ①合同あいさつ運動（歩こうウィーク）
 - ②小学生の部活動体験・壮行式参加（「若い力」事前歌唱指導）
 - ③規律面における指導に関する共通理解—児童手帳・生徒心得の確認
 - ④講師による事例講話研修等を通じた共通理解
- 特別支援部
 - ①学校生活、学習等についての情報交換・共有
 - 教師の実践に係ること（長期休業中など）・児童生徒に係ること（2月下旬頃）
 - ②登校後の提出物等の確認の徹底や係活動の自主的な取り組みを認める場の設定
 - ③帰りの会における振り返りや自己理解を深める活動の蓄積

5 年間事業計画

月	日	曜	内 容	場 所
4	10	月	J S 推進委員会①（年間事業計画等の確認）	中学校
	26	水	小中合同あいさつ運動①（～28日金曜日） * 歩こうウィーク	センター・このみ前
5	8	月	J S 総会①（小中職員顔合わせ、今年度の事業の進め方の確認）	中学校
6	1	水	N R T結果の分析と情報共有（問題冊子の交換）【データ共有】	集会なし
	15	木	市中体夏季大会壮行式における合同応援（6年生） * 「若い力」事前歌唱指導	中学校
8	21	月	中1生徒情報交換会（前年度小6年・今年度中1年担当者）	中学校
	25	金	小中合同あいさつ運動②（～28日月曜日）	センター・このみ前
	29	火	小中合同引き渡し訓練【新規取組】	小・中
	31	木	6年生の部活動体験（午後）	中学校
10	1	日	館地区総合防災訓練 * 午前：地区行事 午後：小・中別活動	小学校
11	15	水	広島大学大学院 准教授 深谷達史氏 講演（市教委教育研究指定事業）	オンライン
1	11	木	J S 総会②（取組の振り返り、講演会等） J S 推進委員会②（取組の振り返り、次年度年間事業計画）	中学校
2	1	木	明治中次年度新入生保護者説明会・授業参観日 * 5校時：授業参観 6校時：生徒会による中学校生活の紹介	中学校
3	22	金	6年生の情報交換 * 指導要録写し等引き継ぎ	中学校
備 考			・各部会は、必要に応じて随時開催する。 ・6年生の1日入学及び中学校入学前のテストは実施しない。 ・引き継ぎ資料を共有する。	